

(別記)

2020 年度植木町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、水田面積における主食用米の作付面積の占める割合が約 46%であり、転作作物に関しては、全国トップクラスの生産量であるスイカを中心とした施設園芸作物が数多く作付されている。

しかしながら、農家の高齢化の進展及び農産物価格の低迷等にともない、地域の中心となる担い手が減少し、担い手への農地集積も進んでいない状況であるため、施設園芸の作付面積も減少傾向にある。

また、水田地帯においては、行政による主食用米の生産数量目標の配分が廃止され、米価下落が懸念される中、耕作放棄地を防止し農家の収益力の向上を推進する観点から、高収益作物への転換及び戦略作物による農地の高度利用を推進する必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

主食用米については、県農業再生協議会からの作付目安の提示に即した米の需給調整に応じた生産を推進するとともに、近年県産米の評価が高まっている中、トップクラスのうまい米を安定供給できる地域として「ヒノヒカリ、森のくまさん」を中心とした良食味米の産地を形成する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米、米粉用米

主食用米の需要減少が見込まれる中、飼料用米・米粉用米も重要な転作作物と位置付け、JA や畜産農家と連携を図りながら、主食用米減少分及び不作付地等への作付拡大を推進し水田活用の直接支払交付金を活用して、農家の収益力の向上を図る。

イ WCS 用稲

主食用米の需要減少が見込まれる中、WCS 用稲も重要な転作作物と位置付け、畜産農家と耕種農家の連携強化を図り、畜産農家のニーズにあった良質な飼料の生産を推進する。推進においては、水田活用の直接支払交付金及び産地交付金（資源循環による堆肥散布）を活用しながら、WCS 用稲の生産拡大を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

水田活用の直接支払交付金を活用し、水田のフル活用を推進しながら、作付面積の拡大を図る。また、農地の高度利用を推進する観点から産地交付金（二毛作助成、飼料作物による資源循環の取組）を活用し、二毛作の作付率、堆肥還元率の向上を目指す。

(4) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、産地交付金（基幹作物）を活用して排水対策と適切な肥培管理を徹底し、単収向上・経営の安定化等を図るとともに、そばについては、水田のフル活用を推進するため、産地交付金（二毛作助成）を活用した二毛作を推進する。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

全国トップクラスの生産量であるスイカを中心とした施設園芸作物が数多く作付されているが、農家の高齢化の進展及び農産物価格の低迷等にともない、近年作付面積が減少傾向にある。

このため、産地交付金の活用方法としてスイカを高収益作物助成、スイカ以外の野菜、花き・花木、果樹、たばこ等を地域振興作物として位置付け、作付面積の維持・拡大をより一層推進し安定的な農業経営を確立する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定 面積 (ha)	2020 年度の作付目 標面積 (ha)	2021 年度の作付目 標面積 (ha)
主食用米	608ha、3,175t	621ha、3,229t	621ha、3,241 t	621ha、3,229t
飼料用米	1.22	2	2	2
WCS 用稲	74.40	75	73	75
麦	12.81	13	16	13
大豆	14.16	15	13	16
飼料作物	43.76	44	43	44
そば	6.58	7	7	7
その他地域振興作物	312.8	323	335	334
野菜				
・スイカ	197.5	202	207	202
・きゅうり	16.7	17	17	18
・トマト	6.2	7	8	8
・なす	22.9	23	22	24
・ピーマン	4.4	5	7	6
・かぼちゃ	14.1	15	14	16
・メロン	20.6	21	24	22
・にがうり	5.8	6	7	7
・その他野菜	15.0	16	16	17
・果樹	3.4	4	5	5
・花卉・花木	4.6	5	5	6
・たばこ	1.6	2	3	3

※主食用米の当年度及び 2021 年度の目標値において使用した単収は 520kg/10a

※主食用米の 2020 年度作付目標値において使用した単収は 522kg/10a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2019 年度	2020 年度
1	スイカ	高収益作物助成 （基幹）	スイカ作付面積 （ha）	197.5	(207) 202
2	野菜（スイカ以 外）、花卉・花木、 果樹、その他	地域振興作物助成 （基幹）	野菜、果樹、花卉・ 花木、その他作付 面積（ha）	149.7	(175) 152.2
3	麦・大豆・飼料作 物・そば	二毛作助成 （二毛作）	二毛作作付面積 （ha）	39.5	(114) 43
			二毛作作付率 （ha）	106	(115) 106
4	飼料作物 WCS用稲（基幹・ 二毛作）	資源循環の取組 （耕畜連携・基幹・ 二毛作）	取り組み面積 （ha）	16.9	(99) 19.3
			飼料作物等作付面 積（ha）	121.1	(124) 122
			堆肥還元率（%）	14.0	(80) 16

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。